

所を選定する。または、自分たちの力で共同して施設をつくっていくと、これらの考え方があるかどうか。

以上、ほんの一例ではありますが、大変抽象的になりがちな広域行政圏への参画、こういった問題につきまして、当市として一歩進んで、具体的な参画計画があるかどうかお尋ねいたします。

次に、豊かな福生市づくりの施策について、その一といたしまして、さきの選挙におかれまして市長は、その重要施策として幾つかの公約をなさいました。選挙戦におきましてめでたく当選され、二期目に就任されたわけですが、特に、任期中にこれだけは何としても実現したいと強く決意されておられる点について、その考え方をお聞かせいただきたいと思います。

二番目、市内の重要道路の計画推進と早期整備について、具体的な取り組み方についてお尋ねいたします。

市内における道路の状況は、都市計画整備について見た時点では、その完成率は、大変パーセンテージの上では高くなっております。しかし、

実際に、道路の利用という現実的な問題として市内を見たときに、ほとんどの幹線道路が、工事が中途でとまっておる道路ばかりでございます。これでは基本的な都市整備という点では、大変おくれをとっていると言わざるを得ません。

そこで、市内の主要道路であります国道一六号―奥多摩街道の熊川地区市役所通りの、ちょうど小室モーターから青梅線を横切った先の井上米店までの二二四号線、井上米店から福生駅東口に至る二二三号線についてお尋ねいたします。

まず、国道一六号については、すでに基地側は、全区域で拡張のための工事は完了いたしております。またフェンスも完了しておりますが、この肝心の道路整備に対する工事は手つかずの状態です。完成図を何年も前に見ておられる地元の方、商業者、地域住民は、その工事の大変なおくれのために、議会に対しまして早期実現の方の陳情を出されております。議会におきましてはこれを採択いたしました。何とか早期実現を図ってほしいと、さきの議会におきましてそのような方向づけはなされて

おります。

一つ、このおくれの原因、一番大きいものは何であるかと。これは建設省の予算の不足と予算がないとこういうことでありますが、単に道路工事だけということならば、日本国全域から見たときに、方々にこういった現象はあろうかと思いますが、この道路は、地元の人、また福生市にとっては、道路だけの問題ではないんです。もっと大きな問題を抱えておるわけでは、道路だけの問題ではないんです。この米軍の施設、この基地に対してございまして、私は、国の横田基地というこの米軍の施設、この基地に対する取り組み方、大変認識不足な点があるように思われてなりません。この道路工事のおくれということは、地元の商店街にとっては決定的なダメージです。今日それがあらわれてきております。一六号の通りで、現状で商業活動がうまくいっておる、安泰であるというふうなお店は、ごく少数ではないかと思えます。

この道路計画に対しまして、五十九年度は五億円ぐらいの予算が計画のためについたと聞いておりますが、それではこの予算のうち、福生市内の関係では具体的にどのようなようになっていくのか。今後とも国に対して特段の配

慮をするよう強く訴え、その完成に向けての市の取り組み方をお聞かせ願いたいと思います。

次に、奥多摩街道の熊川地区の道路工事についてでございます。

これにつきましても、過去、議会においても何回となくどうした、どうしたというふうな説明、また要望等が強く出され、長い年月を費しているかは、きりとしためどがつかないまま現在まで時を過してきております。

最近、東京都の方も財政的に少々の余裕が出てきたというふうにお伺いしておりますが、これにつきましても、今年度あたりはひとつはきりとした方針を東京都に出させるように、福生市の方から一定の期限を切つてせむやうしてほしいと、このことを都にいつまでに完成させるのかというふうな詰め寄った言い方で、これが完成に向けて強力に推進していただきたいと思うわけではございますけれども、そのような一つの決意と申しますか、何してもやっていただくだというふうな強い姿勢をお持ちになつて対処していただけるかどうかお尋ねいたします。

また、都市計画道路の――さきに具体的に申し上げました五二、四

号線、Ⅱ・Ⅲ号線、これを実現して、福生市の東口にバス乗り入れを図って商店街の活性化を図ったどうか。そして、この計画道路をいつ東京都施行でやっていただくように強く要望していただきたい。そのかわり、周辺の細かい計画道路につきましては、ひとつ市の事業としてやらせてもらいたいというふうな一つの案を東京都に出して話し合いをして、市内の計画道路の早期完成と同時に、商業活動の発展を推進するという考え方を持っておられるかどうか、この点をお尋ねしたいと思います。

三番目に、拝島駅周辺地域整備計画に対する福生市の取り組み方と、武蔵野会館の用地取得に対する市の考え方について。拝島駅周辺地域整備計画は、すでに御承知のように、昭島市においては五十八年度にその開発計画を発表されておりますが、福生市においては、現時点におきましては具体的なものは何も出されておられない状況であります。本年度より実施される熊川地区の整備計画を早急につくりまして、拝島駅周辺に対する計画が昭島市におくれること

のないよう対処してほしいと思います。

それと同時に、この地にありまるところの武蔵野会館用地並に隣接しておりますその地域の遊園地の用地を開発計画に先かけて取得して、その間、地下を駐車場として利用すると。そして、これらの地域の商業活動の活性化を図る。同時に、将来の都市計画に合わせて先行的に買っておかれると。これは現時点においてならばまだ取得する望みもありますけれども、先へ先へと地域の開発がされていきますと、なかなか市でそういった土地を確保するということはむずかしい問題が出てきます。そして、土地というものは、欲しいからといってつくるわけにはいきません。お金が幾ら出たからといっても、後からそれを希望されてもどうにもならないと。こんなことから、この場所は、私はどうしてもこの拝島駅周辺の開発と、また地域の商業活動のためにも、先行投資されることを強く望むものでございますけれども、これらについての市の考え方をお尋ねしたいと思います。

それから、四番目といたしまして、拝島駅北側の旧一六号道路の地下

道建設について、事業推進の考えがあるかどうか。

このことにつきましては、以前から私は市に対して要望しております。

大きな線路に南北が寸断されておまして、地域住民にとりましても大変日常生活の面でも不便をしております。ここで、将来に向けての梓島駅周辺開発と、こういう計画も出されてきております。これらと絡み合わせてもぜひひとつこの事業の実現を考えていただきたいと思います。

そしてまた、この地域は横田基地に接し、飛行機の騒音も大変ひどい場所であります。また、横田基地にいつどんな事故が発生するかもわかりません。絶対に事故が発生しないという保障もないわけでございます。このような事態を想定したときに、地域住民が避難道として大きな役目を果たすことができればこの計画ではないかと思うわけでございます。その辺を市長の方から防衛施設庁の方に強く要望していただきまして、基地周辺整備のために本事業の推進を強力に押し進めていただくようお願いすると同時に、この事業についての市の考え方を聞かせいただきたいと思います。以上で登壇による第一回目の質問を終わります。

(市長 田村匡雄君登壇)

○市長(田村匡雄君)

仲村議員さんの御質問にお答えいたします。

第一点目の西多摩地域広域行政圏の参画についてでございます。

昨年の六月定例議会におきまして、この規約につき御議決をいただいております。その後、七月に協議会を設置し、十二月東京都知事から大都市周辺広域行政圏の認定を受け、以後今日まで、構成組織九市町村において規約に基づき、委員並びに部課長で構成される幹事会において、圏域にかかる事業について協議検討しているところであります。

現在、圏域における基本構想、基本計画、さらには実施計画等の策定、資料づくり及びその検討を重ねているところでございます。その中から共通的なものを取り上げ、広域圏で行った方がより効果的な事業を検討していくこととなります。一方、東京都においては、総合的かつ広域的な圏域行政施策を目的とした市町村振興推進会議を本年四月に設置したところであります。今後、本推進会議は、西多摩地域

広域行政圏に対して直接間接なる援助をすることになります。

当市といいたしましては、本圏域の表玄関としての位置にあり、その地理的条件を踏まえ、都市基盤の整備等を推し進めてまいりたいと思っております。先ほど御指摘の図書館、それから伝病組合を初め、多摩川の清流の復活、主要幹線道路の整備、保養施設の建設等がその話題になろうかと思っております。

さまざまな行政施策が山積する中で、本圏域市町村相互の信頼と理解により圏域の特質を見きわめて、その対応に努めてまいりたいと考えております。

二点目の豊かな福生市づくりの施策についてお答え申し上げます。

重要施策と二期目に目指すもの。

先ほどごあいさつの中で申し上げたとおりでございますが、引き続き健全な財政を堅持し、市政を推し進めてまいりたいと思っております。当市はまだまだやらなければならぬことが山積しており、教育施設、福祉施策の充実等を初め、環境衛生の向上、福生駅西口周辺の再開発

及び熊川地区の区画整理事業等により、基本方針に沿った活力ある市民のまちづくり、まち福生市を目指して、心新たに熱情を持って公約の実現に努力してまいりたいと思っております。今後、議員各位並びに市民の皆さんの深い御理解をお願い申し上げる次第であります。

次に、市内主要道路の計画推進と早期整備についての具体的取り組み方についてお答えいたします。

計画的整備は、都市基盤の基本的課題であると考えております。その意味で、議員さんの御指摘もごもっともで、早急に整備すべきであることは十分承知しているところであります。

私は、市長就任以来、国道一六号線並びに熊川地区の奥多摩街道の拡張整備につきまして、建設大臣を初めとする国会議員あるいは都知事、都議会議員、西多摩建設事務所長等へその早期実現を強く要望してきたところでございます。大変遅いように思われますが、その成果が徐々に出てきております。

まず、国道一六号線ですが、建設省におきましては、五十八年度一億

円にすぎなかった予算を五十九年度は五億円以上に上げ、現在、熊川地内の用地買収交渉が進められております。一部工事も着手されると聞いております。恐らく来年度は、一気にかんりの工事が行われる見通しであります。

一方、奥多摩街道は、西多摩建設事務所において五十八年度は現況測量が実施され、引き続き五十九年度は、これからでございますが、用地測量の発注がなされると聞いております。したがって、来年度は用地買収に入っていたくようこれから強く要望してまいる所存でございます。

せろには、御指摘の都市計画道路、とりわけⅡ・四号線の志茂地区からⅡ・ニ号線、大聖病院通りまでの間も、何としても東京都施行で実施していただくよう都に対して働きかけてきているところでございます。

いずれにいたしましても、御承知のとおり、国、都とも厳しい財政状況下にありますので、これからこれ以上おくれないう、少しでも早まるよう

あらゆる手段でこれが早期整備を要望してまいる所存でございます。

次に、第三点目でございますが、確かに昭島市では、五十八年度において拝島駅周辺の開発計画をまとめ、発表されました。

五十九年度、当市では熊川地区の整備計画をつくりますが、この中で、御指摘の当市における拝島駅周辺のプランを盛り込むようにいたします。そして、昭島市におくれないう対処してまいりたいと思っております。それに、お話の武蔵野会館用地を絡ませ、その実施段階を展望して、たとえば駐車場用地等を確保しておいたら、このことでございますが、遊園地の方を六十一年度以降買収を予定しておりますので、これらと合わせよく検討してみたいと思っております。

続きまして、四番目の拝島駅構内における南北通路についてでございますが、私は、昨年昭島市長を初め関係職員とも会ひまして、拝島駅の自由通路建設について話し合いました。また、当市においても、これが実現に向け研究するよう指示しているところでございます。横田基地を抱えた両市にとって、それなりの理由を一致協力して防衛施設庁へ要

望し、補助が仰げればと考えております。

ありあたりは、国鉄線、西武線、何本も鉄道が通っていますので、大
変幅が広いと申しますか、最も区間の長い部分でございます。いずれ
にいたしましたも、事業費も相当かろうかと存じますが、これからも
積極的に対処してまいりたいと思っております。

以上で答弁とさせていただきます。

○十四番（仲村清信君）

自席から再質問をさせていただきます。

それでは、市長の答弁をいただきました。その広域的にやられると
いうことは、なかなか一人相撲ではできない、こういったことはよくわかりま
す。ひとつ第一回目の質問をいたしました四つばかりの具体的な問題点に
ついて、いまだ少し担当部長あたりからその考え方とか、福生市として一つの
方向づけとしてやっておるとか、そんなふうなところをお聞かせ願っておき
たいと思っております。

市の基本的な姿勢、これは私は、福生市がいずれにしてもこの地域の
リーディングシップを取っていくんだと、この基本を貫いていただきたい。これが

いろいろのちまたの話の中では、どうも福生が端の方へ来てしまうような考
え方のあることも聞いております。しかし、歴史的な面、また過去の福生
市の実績等を考えながら、基本的な姿勢は、福生市が西多摩の開
発について、また多くの西多摩地域の住民のためにその施策をとりはな
ものを福生市が出してやるんだというふうな市長の方でもお考えを持
ちながら、ひとつこれらに当たっていただきたい。この件については、要望
をさせていただきます。

それで、いま申しました具体的な面について、四つねが出してあります
けれども、これ以外にも市の方で何か考えられておることが現時点であ
りましたならば、一応お聞かせだけしていただきたい。第一の質問はッ
てんなことでございます。

二番目としての、この豊かな福生市づくりの施策について、これはいま、
市長からの御回答をいただきました。市長が重要施策として公約さ
れた問題に力強く推進していくという考え方、また、その二期目に目指
す方向づけとありますが、そういうことも先ほどの市政の中でお聞き

しております。ただ、具体的に担当者の方からでもお聞かせ願えればと思います。

この市民生活の上に大変重要ではないかと思えます。災害が一たん発生したときに、福生市民はどのように対処していったらいいか。日ごろのそういったものに対する考え方、そして、いまつくってこういうふうな方向づけがされております。自主防災組織関係についての問題、それから、何回かこの議会の中でも一般質問の形で出されております。駅周辺の自転車駐輪場の問題、これらもただ前進するんだとか、何とかしたいんだというだけでは解決にはなりませんので、二期目の市長としてこんなふうな形で具体的に進めていくんだというふうなものがいまのところありましたら、お聞かせ願いたいと思うわけでございます。

それと、横田基地関係で、騒音の線引きの拡大、これは市長が国と相手にがんばっていたくださりまして、多くの地域がその線引きの中に入ることかできたわけでございますけれども、私の方でも、前から私は申し上げております。国が、生活環境基準と言ってセ〇という騒音の基準を出

しております。またこの線引きはそれのところまで来ておりません。そして線を引きただけで騒音がなくなるわけではないわけでございまして、全般的に、一部屋の防音工事、これを順次二部屋、最終的には全室とか、そしてまたそれに伴う空調関係の費用、これも基地がなくて飛行機が飛ばなければ何もそんなにむだな金をかけることもないわけでございましてけれども、それらにつきましても、国とさらに強く基地周辺住民の対策問題として訴えていただきたい、このように考えておるわけでございします。

それから、市民の健康とこれの維持管理ということで、どこでも最近では、国保関係大赤字ということでもございしますけれども、ひとつ見方を変えまして、病気になるからお金がかかるんではなくて、病気になるないための予防ですね、予防医学、こういったものに重点を置いてやっていた方がいい。市長も、公約の中でそういったことをやっていくんだというふうなことを前面に出しております。それらにつきまして、いままではいままでとして、これから先一歩前進して、市民の健康管理という面での対応をお聞かせ願いたいと思えます。

それから、その公約の一期のときにも、最大公約という形で福生駅の西口再開発問題を掲げられました。今期もそれは出しておられます。これにつきましては、議会側も全面的に協力をしていくというふうな考え方で来ておるといふうに私は感じておりますけれども、大変この西口の再開発ということはむずかしい。むずかしいということとはよくわかります。しかし、福生市がむずかしい、むずかしいと言っている間に周りが次から次へと大きなものが出てしまっておるのが現実でございます。福生市が計画が完成するころになつてはお客さんの来手がなくなるような時代にこれを完成してみても、何の意味もなさないわけでございます。それらについて大規模的な計画がもし時代の波にそぐわないのであれば、それを縮小すると。縮小しても商業開発福生市の表玄関にふさわしいような内容づくりというものはあると思います。そして、いずれにしても遠い将来ではこれはうまくないわけでございます。近い将来にひとつこれが完成しなければ、なかなか現在の理解していただいております地域住民も、世代の交代が来てしまいますと、むずかしい問題も出てきます。ひとつこの辺についての今期市

長の取り組み姿勢をお聞かせ願いたいというふうに考えるわけでございます。また、この福生は、商業開発、大変これは言葉の上では簡単にぼんぼん出る問題でございます。具体的に、じゃあ商業開発に何をするのか。総論的に言えば、何でも開発するとか、前進させるとか、これはできませんけれども、周りの地域に大きな客を吸収してしまうような施設が出てきておる現状を見ながら、より細かい、実際具体的に即応したような商業開発、商工業開発施策というものを考えておられるかどうか。この辺ひとつお尋ねしておきたいと思っております。

それから、二番目の主要道路の計画推進でございます。この国、都、なかなか二言目には予算がない、いままじ待つてほしいとだけけれども私も住民感情と申しますか、長いこと放置されておかれる。それを毎日毎日見ておる者にしましては、やはりものには待てる限度というものが私はあるんじゃないかと思ふんです。

大体、国道一六号を見ても、あれはもう非常に基地の町というものがいかに発展を阻害されておるかということとを全国の人に見せておるよう

な状態が国道一六号であると私は考えます。そして、都道の奥多摩街道につきましても、あとわずかの期間ですね、これがなかなか解決がつかない。本当に金かなくてできないなら、東京都やめてくれと、福生市独自でもやらせてもらうなら、やってしまおうというくらいのこと、言葉はきついですけれども、それくらいの決意を持って市長に臨んでもらいたいと思っております。そして、この二期目の市長の一つの公約実現というふうな形でこれを完成していただきたい。これは二期目ですから、来年完成させても本年度完成されてもいいわけでございます。最後の最後まで期限を延ばすことはございません。ひとつその辺を理事者サイドの方でも強く上級官庁との折衝をしていただきたい。

そして、また皆さんも御承知のように、国道一六号これに関しては、いま市長の方で予算もついたら、完成されるであろうと。これは用地取得の問題が瑞穂地区等においてもいろいろまだあると思うんです。ですから、全体的な計画が完成するということは、私はまだ当分先へ行くんではないかと。だけれども、せめて基地を少しずつ道路沿いに引っこめさせ

たこの努力も大変ではなかったか。ひとつこの意気を継続して、この福生地域のあの地域の皆さんに見せた青図面、また完成予想図、これらが現実の問題として近いうちにできるようにはがんばっていただきたい。

それでまた、この基地があるためにこの地域は交通渋滞を起している。そういうこともその国の方に要望を言っておられると思いますけれども、しつこいほど言っていたきたい。国は金がないと言いますが、時と場合によっては、大変な大盤振る舞いをするわけですね。これは御承知のように、原子力船のむつが母港化するその地域においては、漁業補償だとかいろいろの形で膨大な金を払っております。これは国会でも問題になっております。ただ作業するための船が通る、これは新聞にも出ておりました。私もこれを読んだときに、この場所と福生のこの横田基地というものを見てみたかどうか。わけわけとしても、この基地のために大変被害をこうむっておるんですから、せめて基地の前ぐらいの道路は何とかやってほしい。その辺のところを、むちゃくちゃ言うなど言われても、市長の後押しをするのは市民でございますから、国で田村市長というのは困ると思われる。